

国際的な 甲賀市

甲賀市国際交流員
ジュリアン・エイムズ



△決して難しくありませんよ



▽子どもたちも興味津々です

はじめまして、私はジュリアンです。アメリカのバージニア州から、昨年の8月に日本へ来ました。合併前、甲南町で働き、10月から甲賀市の国際交流員になりました。国際交流員というのは、国際理解教室を開いたりして国際化を推進しています。

日本に来て、「国際化を進めたら自分の文化がなくなる」と思う人や「国際化は国際交流協会か英会話教室がすること」と思う人によく出会うことがあります。しかし国際化はそんなに難しく時間がかかることはありません。私の意見では、国際化というのは人の考え方が広がることです。皆さんが次の5点の簡単なことを実行してみたらもっと国際的になれると思います。皆さんに自分の生活で、次の5つについてやってみることを提案したいと思います。

①外国語を習うこと。外国語が分かったら、もっと多くの人と話せて、自分の言語を習っている人の問題も分かるよ

うになります。そして、外国語を話せたら、後4つのステップももっと簡単に出来ます。

- ②他人を尊重すること。言語、出身、宗教、性別と関係なく、人は人です。皆が同等です。
- ③他の国の文化にふれてみたり、様々な習慣を経験してみること。他の国の文化を経験したら、その文化を理解出来ます。そして、他の国の人も日本を理解出来ます。
- ④いろいろな所に行って、いろいろな国から来た人と友達になること。そうすると、他の国の人の考え方が分かるようになって、偏見なく順応できるようになります。
- ⑤いつも心を広くもち、新しい意見と習慣を習うこと。「誤った文化」はありません。多くの知識や経験を通して様々な文化を受け入れることができれば、もっとすばらしいでしょう。これらの5つから始めたら、甲賀市は国際的な市になれると思います。皆さんもやってみましょう!

学校、公民館や地域で国際理解を進める教室を行う場合、国際交流員を派遣します。ご要望がありましたらお気軽にお問い合わせください。

市民生活課コミュニティ推進係
☎65-0687

参加者の多くはホームステイが始めてで、最初は不安と戸惑いの中にいましたが、デウィットの方々が優しく、あたたかくしているものです。

1月13日～1月21日まで甲南中学校の生徒10名と引率者3名がアメリカカミシガン州デウィット市を訪問しました。この事業は、甲南中学校とデウィット中学校の両生徒が友好を深め、自分の国以外の文化や日常生活を体験し、多くの人と交流することで、相互理解する心を養い、国際的視野を広げ国際社会で柔軟に活躍できる人材を育成しようとして実施しているものです。



△日本の文化を体験中

第7回
青少年
姉妹都市
交流事業

▽仲良くなったみんなと一緒に



△デウィット市も歓迎

出会ったすべての人に感謝!

～あたたかく迎えられ楽しく過ごした9日間～

接してくださったおかげで、大変楽しく過ごすことができました。

また、中学生はアメリカの文化や生活に触れる中で、自由の中には責任が伴うことや、出会った人に挨拶することで、自分も相手も気持ち良くなれることに気づきました。アメリカでのホームステイを体験することにより、文化や生活習慣の違いを理解し、普段なげなく見過ごしがちなことに気づき、その大切さを再確認できたことは大変貴重な体験となったようです。

5月にはデウィットの中学生が甲賀市を訪問されます。まちでその姿を見かけたら明るく挨拶をしてください。そこから小さな国際交流が始まります。

